

1. 団体としてコメントいたします。
2. 団体名： 株式会社いわきテレワークセンター
3. 連絡先：[住 所]

[電話番号]

[メールアドレス]

#### 4. 意見

『重点施策』のうち「地域の絆の再生」の中に、テレワークによる地域の活性化支援の促進という一項目を是非加筆していただきたい。

- ①「地域の絆の再生」の参考資料には、「高齢社会の本格化を踏まえ、高齢者の就労・社会参画を促進し、独居高齢者の安否を家族等が確認し、在宅医療・介護等において必要なケア情報を提供すべく、情報通信技術を積極的に活用する。」とあり、その具体的な施策に「テレワークの推進」が取り上げられております。そこでは、「子育て・介護のために休職を余儀なくされている女性や高齢者、チャレンジド等に対し、テレワークの普及・啓発に向け、教育訓練費用に対する助成、在宅勤務雇用を行う事業主への助成金・奨励金の支給等の包括的な支援策を実施。」という内容が指摘されております。
- ②この記述はテレワークによって地域を活性化しようと挑戦を続けている当社のような地域型テレワーク推進企業にとっては、誠に勇気づけられるものであります。是非とも、積極的な推進を期待しております。
- ③また、さらに付け加えていただきたい点は、テレワークという人を軸とした地域活性化施策は、地域の課題解決のため大きく幅広く貢献するという点です。例えば、重点施策の中の（２）地域の絆の再生の中の幾つかを例にとって見てみます。

●重点施策の一番目「過去の診療情報…」の項では、「また、匿名化されたレセプト情報等を一元的なデータベースとして官民で集約し…」というワークの側面が指摘されていますが、これは在宅で働く主婦や高齢者などを動員した地域での総合的なテレワークにより具体的な実現が可能かと思われます。

●二番目の「高齢者の就労・社会参画を促進し…」という項では、高齢者等の社会的弱者にさらに高度な ICT 教育を実施し、そのスキルを活用して就労を促進するには、自宅で働くことができるテレワークというワークスタイルが欠かせないものと考えられます。

●最後に、四番目の「地域の文化・観光・物産情報等のふるさとコンテンツの制作・発信等を推進…」という項では、当社は、地域型 EC サイト「ふるさとマルシェ」を運営し、地域の逸品を web サイトやコミュニティサイトを活用して外部に発信する実験を試みて

おりますが、こうした地域の産品、地域文化、観光などの総合的な情報は、そのコンテンツの中身によって多くの人々に視聴されるかどうか決まることから、テレワークによる人的ネットワークの拡大を基盤とした情報の収集、編集、発信作業が展開できれば、ふるさとコンテンツの制作・発信等を推進する有力な方法になるものと考えられます。

以上のことから、重点施策の「地域の絆の再生」の本文の中に、是非、地域活性化とテレワークの推進という一項目を加えて頂ければ幸いです。

以上